

事業報告書

1 支援団体名	中島壮年部
2 事業名称	中島水辺の交流とオアシスの郷づくりに係る「憩いの場整備事業」
3 実施日時	平成27年5月17日～平成28年3月5日
4 実施場所	佐賀県唐津市厳木町中島大字墨田地内
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) (1) 管理・環境整備・学習会・イベント・植樹等 5月の厳木ダム湖周辺除草及びホタル再生環境整備をスタートにホタル観賞会、子どもクラブ合同河川水質、生態系調査・環境学習会、夏場の河床清掃及び河岸周辺の除草作業、子供クラブ体験等の情操教育。秋季は河川内葦、竹等除伐作業、ダム周辺ウオーキング会。冬季は葦、竹等焼却作業及びオアシスの郷づくりに向けた里山再生植樹活動等を実施しました。 (2) 憩いの広場整備事業(芝張作業) 水辺の交流とオアシスの郷のメイン広場創設を目的に、壮年部を中心に各団体等の連携・協働活動による芝張作業等環境整備を実施しました。
	(事業実施効果) ダム周辺除草及び河川環境整備を始め緑化・景観づくり活動等を通じて、ダムと水資源は流域住民共有の財産と共生の意識が芽生えています。 又、ホタル再生、河川生態系学習会及び河川整備、清掃活動等により、水資源機能の公益性と循環性の理解をはじめ、水資源への恩恵と愛護思想が培われると共に子ども達の情操教育の拠点になっています。更に、活動の進展として、平成25年度から里山と河川の一体的有機的再生と活用を目指すオンリーワンの「水辺の交流とオアシスの郷」の創設を図ることで、個性と魅力ある交流拠点が出現し、地域づくりの起爆剤になっています。
6 参加内訳	総人数 275名
	(1) 主催者参加 187名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 88名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 名
7 今後の方針	里山と河川の一体的有機的な活用を図るオンリーワンの水辺の交流とオアシスの郷の創設により、厳木川流域住民を始め、町内外の人々のプラットフォームとしての役割を加速させ、ダムや水資源の重要性和健全な保全意識の醸成を図ります。更に、子育て支援の一環として体験・世代間交流活動等、情操教育イベント等を展開します。これらの活動を通じて、中島地区の個性ある交流拠点と新しい歴史とストーリーづくりを目指します。

ホタルロード除草



巖木ダム周辺除草



河川内葦竹焼却



オアシス芝張り作業



オアシス芝張り作業



オアシス芝張り完成

